

ご近助だより

【発行】
藤岡市地域支え合い協議体
事務局：藤岡市社会福祉協議会
藤岡市藤岡1485
0274-22-5647

「ご近助だより」は、地域支え合い協議体に関する情報や地域の支え合い関連の情報をお届けします！

「地域支え合い協議体」とは？

公民館単位8地区毎にある地域の人達の集まり。元気に歳を重ねていき、歳をとっても地域で安心して暮らしていくために、大切なことや自分たちができることについて話し合っています。

昔からある地域の支え合い特集 こんなことも「支え合い?!」

前回「買い物支援特集」として、新しく始まった『移動スーパーとくし丸』の様子を掲載しましたが、もっと前から地元の移動販売が市内各地を回っていることはご存じですか？

今回のテーマは「昔からある地域の支え合い」

地域とのつながりをもちながら、移動販売を続けている様子を、いくつか紹介します！

【美九里地区】

100歳になるAさんは、1人暮らし。
週に1度来てくれる茂木商店さんとは、
30年来のお付き合い。

そのため茂木商店さんは、お客さんのお気に入り食材などを把握しています。

茂木商店さんは、移動販売をしながらお客さんの話し相手になったり、悩みごとを聞いたりすることも。お客さんの体調が悪く救急車を呼んだこともあったとか。

週に1回、顔が見える関係性を続けているからこそ気がつける体調の変化、お話しできることなど、買物だけではない「あたたかさ」がありました。

こんにちは。変わらないかい？
いつものやつ、持ってきたよ。



とっても助かってるよ。
ありがとう。

【日野地区】

移動販売をしている新井商店さんが来る時間になると、いつもの買物仲間が集まって、おしゃべりに花を咲かせます。中には自分で車を運転して、みんなが集まる買物の場所にやってくる方も。

みんなが集まってくる買物の場所までは来られるけれど「荷物を持って家まで帰るのは大変」という方には、買った品物をご自宅に届けるサービスもしているそう。

できることは自分でやり、おしゃべりして笑いあって楽しい時間を過ごす…これぞまさに介護予防！元気の秘訣！

いつも集まるメンバーが決まっているから、自然な見守りや声のかけ合いにもつながっています。



「冗談を言える関係になるまでが大変だけどね」と新井商店さん



1人暮らしだから、ここでの情報交換は貴重だよ



新井商店さんが来るまで、道端でおしゃべりに花が咲く



地域には他にも移動販売をしている商店さんがいくつもありますが、今回は協議体で話題に出た2か所取材しました。

ちよつと言

去る2月20日、地域支え合い協議体講演会「支えてみよう近所の人を いつかくる自分のために」を開催し、170名の方にご参加いただきました。

講師の目崎智恵子さん（高崎市第1層生活支援コーディネーター）による講演の他、市内各地区の協議体の状況報告を行いました。

協議体の報告では、美土里地区地域支え合い協議体委員の小島和夫さんが、発表をしてくれました。

美土里地区地域支え合い協議体では、地域住民へのアンケートをもとにゴミ出し支援に取り組んでおり、小島さんの「できそうなことからやってみる、ゆっくりでも一歩ずつ進んでいくことが大切」とのお話が印象的でした。

協議体では「今ある地域のいい所・支え合い」を大切にしながら地域で出来そうなことについて、考えています。